

田中電気のお仕事紹介

『東京民放5社・千葉テレビ 地上デジタル放送設備工事』

アナログからデジタルへ！中継局放送設備工事～千葉県白浜局編～

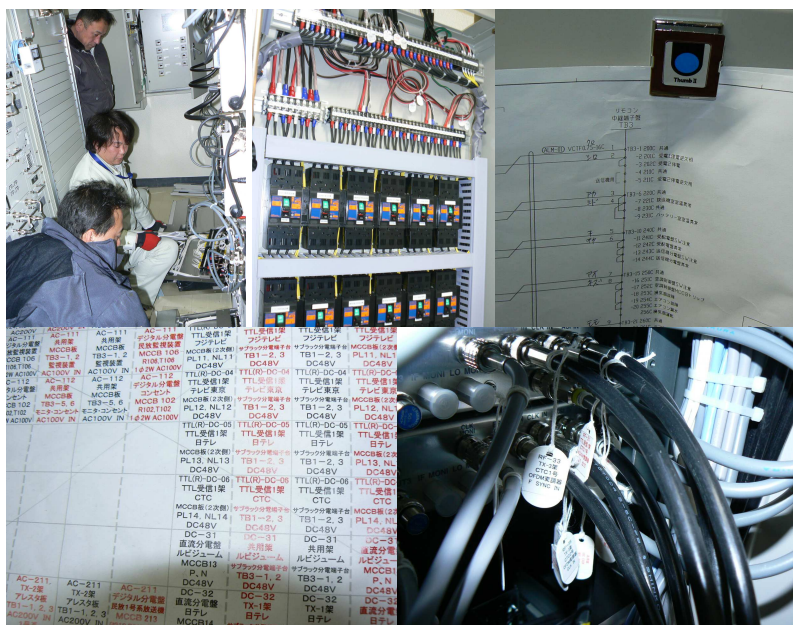


左側が今回新しく建設中のデジタル放送用のアンテナの鉄塔
右側は現在使用中のアナログ放送用のアンテナ(鉄塔)

東京民放5社様（日本テレビ・TBS・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京）、千葉テレビ様の地上デジタル放送移行に向けて、中継局放送設備工事を行っています。今回は、千葉県房総半島の最南端白浜局の工事をご紹介します！

東京駅から高速バス『なのはな号』に乗って片道約3時間！一足速く菜の花が満開の千葉県南房総の白浜局の現場へ行ってきました。

中継局設備工事は機材の搬入から機器の耐震据付、配線工事、電源投入、機器測定、エリア電測など10日以上。場所によっては、人里離れた山中にあるので、車で入れない現場では、1時間くらい歩いて登山することも。すずめ蜂や蛇、時には熊に遭遇する事もあるとか！3、2、1の合図で設備に電源を投入し、各装置に確実に電源が通るかひとつひとつ確認します。『放送が止まるなどの事故につながるので少しのミスも許されません』と渡辺係長。現場作業員皆、真剣な表情で作業が進みます。この日はちょうどオリンピックの男子フィギュアスケートが放映されていてよりいっそう緊張感が漲っていました。



細かく複雑な図面をマグネット付クリップに挟んで確認しながら配線。分電板の中まで配線の美しさはピカイチです！後から誰が見ても分かるよう数百本のケーブルに丸札と呼ばれる札を取付ける細かい作業も。地域の方々がデジタル放送を楽しめるよう、日々奮闘中です！



←緊張の全作業を終えて。
千葉テレビ様、JDS様と、以前ファクトリーニュースに登場いただいたベイエフエム吉田技術部長(左から3人目)とも偶然再会することが出来ました！

上記に関するお問合せは、**0120-150-712** または **info@tanaka-denki.co.jp**

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

田中電気セレクト新製品

★お問い合わせはマーケティング部(担当渡辺)まで

0120-150-712

NEW!

ダイキン工業

除加湿清浄機

『クリアフォース』

ACZ65K-W(25畳用)

田中電気販売価格

¥63,500(税込)



今回ご紹介する商品は、
抜群のウイルス分解・除去
性能を誇る“光速ストリー
マ”技術を搭載した、ダイキ
ンの空気清浄機“クリアフォース”です。空気を自分好みに変え
ることができれば、毎日はずっと心地よくなるはず。

ACZ65K-Wは加湿・除湿・脱臭・集塵の4つの機能を搭載し、空気
を快適に変える、一年中使える一台です。

日本・海外の公的機関が認めたクリーンテクノロジー、光速スト
リーマ技術はウイルス・細菌も抑制・除去。クリアな空気をコー
ディネートします。お客様のオフィスにもお勧めの空気清浄機
“クリアフォースACZ65K-W”にご興味のある方は田中電気マーケ
ティンググループ [TEL:0120-150-712\(担当渡辺\)](tel:0120-150-712) までお問合せく
ださい。

田中電気

『今月のこの人!』

今回のファクトリーニュースのメインでご紹
介している地上デジタル放送設備工事、白浜中
継局の現場を担当。田中電気ネットワーク事業
部の中堅を担います。この工事が終われば次は
すぐに富山局のデジタル移行工事の現場が始ま
るという、連続の超多忙なスケジュールをこな
しています。複雑な配線もお手の物。頼れるお
兄さんの存在です。お酒もツヨイです！（笑）



ネットワーク事業部 渡辺 光章 係長

●PR 無線機のレンタルも田中電気へ！

田中電気のレンタル無線機は清潔第一！

イヤホンマイクの耳のゴムの部分を毎回新品に取り替
えています！しかも装着していても比較的痛くないよう
なものを使用。2泊3日 ¥2,520/台～詳しくはコチラ！

→<http://www.rakuten.co.jp/tanaka-denki/>

江戸の歴史

『池上本門寺』

シリーズ No. 38



ここで営まれます。本殿の左手前には日蓮聖人を茶毘に付した跡地に建立された宝塔がある。明治以前創建の屋外にある木造宝塔としては全国で唯一の貴重な建物です。その手前の霊寶殿には日蓮聖人直筆のお手紙をはじめ、本門寺に伝わるご霊宝を後世に護り伝えるための施設となっている。池上本門寺通り商店街はご参詣するために賑わいをみせている。■JR蒲田駅から東急池上線で2つ目池上駅下車。（池上本門寺だよりを参照）

大田区池上にある日蓮宗4大本山の一つで、日蓮終焉の
宅を1291年（正応4年）に池上宗仲が寺とし、1317年
（文保1年）に日朗が開山となる。

本殿に向かう此経難持坂（ひきょうなんじざか）は加藤
清正が寄進した石段で、その名前は法華經に由来しており
坂を登って総門に出る。元禄年間（1688年～1704年）に
建てられたと伝えられる門で、本門寺と書かれた額が掛け
られております。総門の右手には法華經の行者の守護を
誓われた本門寺の守護神が奉安されており、その奥には、
五重の塔が。慶長13年（1608年）、徳川二代将軍秀忠
の乳母岡部局の願いにより建立した建物で、関東では最古
の五重の塔で国の重要文化財に指定されています。

総門を入ると正面に日蓮聖人のご尊像を奉安する大堂が
ありその先に、昭和44年に復興された本殿があります。本
師釈迦牟尼佛と四菩薩が奉安されており檀信徒のご法事も

編集後記 南房総半島はもう春でした。ちょっと前まではものすごく寒かったそうで、現場の皆様には頭が下がります。この日はとてもよく晴れてい
て、房総半島に沈む真っ赤な線香花火の最後の夕陽を見ることができました。椰子の木の街路樹等、南国ムードも満点でした。今回マグネット付
のクリップなしに現場は語れないということが分かりました（笑）図面を見ながらの配線には欠かせないですね。